

# こうち+クロス

高知赤十字病院広報誌  
2020.9  
vol.60

ご自由にお持ち帰りください



## 「ランタナ」

花がなくても楽しめる葉に斑が入った品種もあります。開花期間が長く、丈夫なので鉢物としてよく流通するほか、花壇などにも利用されます。寒さにも比較的耐えるので、関東地方南部では戸外でもよく冬越しします。

文・写真引用元:みんなの趣味の園芸/写真AC

### 高知赤十字病院の理念

愛され、親しまれ、信頼される病院づくりを目指します。

### 高知赤十字病院基本方針

- 人道・公平・中立・奉仕の赤十字基本原則を遵守します。
- チーム医療を推進し、患者様中心の安全で良質な医療を提供します。
- 高度医療の推進と救急医療の充実を図ります。
- 地域医療機関との連携を推進し、地域医療レベルの向上に努めます。
- 教育・研修の推進と次代を担う医療従事者を育成します。
- 災害時における医療救護活動への積極的な参加と支援を行います。

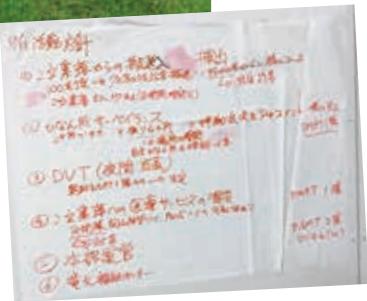
### 受診される皆様へ

私たちは、受診される皆様の権利を尊重します

- 平等かつ適切な医療を受ける権利
- 個人の人権が尊重される権利
- プライバシーが保障される権利
- セカンドオピニオンを受ける権利
- 医療上の情報及び説明を受ける権利
- 医療行為を選択する権利

### 私たちからのお願い

- ご自身の健康に関する詳細な情報を医師をはじめとする医療提供者にお知らせください。
- 治療や検査等は、理解し、納得したうえでお受けください。分からぬことは、ご遠慮なく医師をはじめとする医療提供者にお問い合わせください。
- 病院内では他人の迷惑にならないようにお願いいたします。
- 暴言・暴力行為があった場合、診療をお断りすることがあります。
- 医療費の支払い請求には、速やかな対応をお願いいたします。
- その他、より快適な入院生活をお過ごしいただくために、病院内の約束事についてはご協力ををお願いいたします。

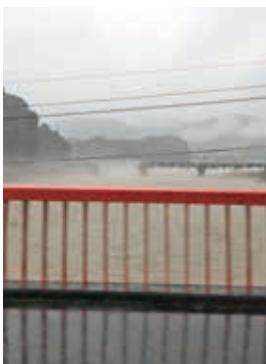


いは医療機関受診が必要な被災者を、地元医療機関へ搬送を促しました。診療エリアのリーダーとして運営を継続し、移り行く診療エリアのニーズに、病床をアレンジしたり、医療班を出張で出向かせたりと、現場の需要に対応しました。

さて本活動を通じて、被災地の方々は、地域を通して周りの方々と繋がって共存されているという事に気付きました。地元の保健師が住民の家庭環境や周囲の人間関係を把握しており、住民同士は繋がりが非常に強く、お互い協力して生活をさ

れていました。その反面、集落が孤立してしまうと在宅避難を希望する方も居て、日常の生活から離れて生活をする事に抵抗を感じ、その場に留まるため、医療班の往診が必要でした。消防団、役員、保健師、自衛隊といった他職種が協力して活動を行っており、医療班だけでは災害活動は成立しないと改めて感じました。

最後になりましたが、今回突然の活動要請に際して、勤務調整や連日情報提供を頂きました職員の皆さん、日本赤十字社 高知県支部の皆さんに感謝を申し上げます。皆さんのご支援の下、無事に活動する事が出来ました。本当にありがとうございました。



令和2年  
7月豪雨

# 高知赤十字病院 DMAT 活動報告

救命診療部 山本 祐太郎

この度、7月10日（金）から7月12日（日）にかけて、令和2年7月豪雨災害のDMAT活動を行ってきました。

形成外科部長・中川医師、救命診療部・山本（筆者）、救急外来・岡林看護師、手術室・長野看護師、リハビリテーション課・川田業務調整員、地域医療連携課・黒田業務調整員の6名での出動

となりました。高知を出発した我々は、12時間かけて車両で陸路を移動しました。活動期間中は、熊本県八代市内のホテルで宿泊する形となりました。



八代市内から人吉市内に入ると、道端には木くずが山積みにされて、どうにか車道を走れるよう整備された状態でした。高速道路からは、今にも崩れ落ちそうな崖や浸水した田園が広がっており、被害の大きさを物語っておりました。人吉市内の駅前は被害がより重度で、住民の方が炎天下の中、疲れ切った顔つきで浸水した家屋を清掃している姿が目立ちました。

DMAT活動として、まず人吉市内の介護老人保健施設へ、聞き込み調査を行いました。調査をした施設は幸いにも建物の被害は軽微でしたが、浸水の被害でカルテや家屋、検査機器が使用出来なくなったりした施設もありました。被害状況を目の当たりにした瞬間でした。



次に、球磨村にある総合運動公園内の屋内施設・さくらドームでの活動を命じられました。中川医師、川田業務調整員、黒田業務調整員が現場指揮所へ入り、指揮の補助を行いました。多くの情報が飛び交う中、適宜状況を判断し、時には指揮所から飛び出し、現地の保健師や自衛隊とやり取りを行い、情報整理に努めました。

筆者山本、岡林看護師、長野看護師は避難所、孤立集落へ出向き、診療・処方の医療サービスを提供したり、在宅避難で孤立している住民に避難勧告を行ったりしました。より山間部の避難所、集落の道中は、土砂崩れや水害で荒れており、自衛隊の車両で荒れ狂う土砂をかき分けて、ようやく巡回を行う事が出来ました。車内泊をされている深部静脈血栓症を疑う被災者がおられました。超音波検査を用いた診療で、深部静脈血栓症は否定出来ましたが、劣悪な環境も加味し、患者を病院へ搬送する方針としました。

さくらドーム内に展開された、診療エリアの運営も行いました。孤立集落からようやく辿り着いた被災者のメディカルチェックを行い、入院ある

当院は

## 新型コロナウィルス感染症検査協力医療機関

です

新型コロナウィルス感染症を疑い下記に該当する場合は、予約による診察ができます。

- 熱が高い
- 頭が痛い
- 感染流行地域へ移動した

- 咳がでる、喉が痛い、鼻水がでる
- 全身がだるい
- 新型コロナウィルス感染者と接触した など



## 完全予約制

診察をご希望の方は、**088-822-1201（代表番号）**に電話をかけ、「新型コロナウィルスの検査依頼」とお伝えください。

## ●電話予約時間：平日（月～金）8時30分～17時

診察日：月曜日～金曜日（祝日除く）

診察時間：14時～16時

## 【注意事項】

- ★PCR検査の必要性は医師が判断します（希望されても検査をしないことがあります）。
- ★結果がわかるまで2～5日程度かかります。
- ★保険診療となりますので、初診の方は保険証をご持参ください。  
また、選定療養費（5,500円）が別途かかります。



## おひるねお手軽レシピ

管理栄養士 沖 のぞみ

## さつまいもきんづば

## ■材料(1人分:2個分)

さつまいも …… 100g  
牛乳 …… 18g  
砂糖 …… 3g  
塩 …… 少々

衣   
 白玉粉 …… 2g  
 砂糖 …… 2g  
 水 …… 13g  
 薄力粉 …… 8g

サラダ油 …… 2g  
(お好みで黒ゴマ)

## 作り方

- 1 さつまいもは皮をむき、一口大に切り、水にさらす
- 2 耐熱容器に水気をきった1と牛乳を入れて、ラップをかけ、レンジで3～5分温める
- 3 熱いうちにマッシャーでつぶし、砂糖と塩を加えて、2等分にして四角の形に整える
- 4 白玉粉に水を少しづつ加えてよく混ぜ、砂糖と薄力粉を加えて混ぜ合わせる
- 5 フライパンにサラダ油を敷き、3に4の衣を一面ずつつけ、焼く



## ■栄養成分

エネルギー 220kcal  
たんぱく質 2.5g  
塩分 0.5g

秋といえば、たくさんの食べ物がおいしくなる季節ですね。今回は、秋に旬を迎える「さつまいも」のおやつです。さつまいもには、食物繊維やビタミンCが多く含まれ、便通の改善や美肌効果があります。

おいしいものを食べ過ぎて体重が増えないよう、体を動かすことも心がけましょう！

皆さまへよりよい情報提供ができる紙面づくりを目指しております。

本誌に対するご意見やご要望などございましたら、高知赤十字病院医療事業・広報課までお寄せください。

(088-822-1201 (代表))

